

麻布小学校開校 150 周年記念 落合陽一氏講演

1. 開催概要

- ・ 日時：2025年9月20日（土） 13：00～14：00
- ・ 場所：麻布小学校 体育館
- ・ 講師：落合 陽一 氏（メディアアーティスト、麻布小学校卒業生）
- ・ 対象：麻布小学校 4・5・6年生児童、保護者、同窓生 計
名

2. 講演内容

講演は、「愛」「万博」「美術」「写真」の中で最も古い日本語はどれか、という言葉の歴史を紐解く興味深い問いかけから始まりました。講師の落合氏は、この問いを導入として、現在自身が監修を務めている2025年大阪・関西万博のテーマや、150年前の教育が現代にどう繋がっているか、そしてその延長線上にある50年後の未来について多角的な視点からお話しされました。

講演全体を通して、デジタル技術やメディアアートといった専門分野の話題を、子供たちにも分かりやすい言葉と具体例で解説していただきました。未来の社会がどのように変化し、その中で私たちがどのように向き合っていくべきか、という深いテーマを提示し、参加者全員が未来への夢や希望を抱けるような、示唆に富んだ内容でした。

3. 質疑応答

講演後の質疑応答には、4年生から6年生までの多くの児童が積極的に手を挙げ、活発な質問が飛び交いました。

落合氏は、一つひとつの質問に対して、子供たちの好奇心を刺激するような言葉を選びながら、分かりやすく、かつ的確に回答されました。また、多くの保護者も参加して落合氏の考えに触れる貴重な機会となりました。

4. 所感

本講演会は、麻布小学校の卒業生である落合陽一氏を講師にお迎えし、在校生、保護者、同窓生が世代を超えて「未来」について考える、大変有意義な時間となりました。

子供たちの素直な疑問に真摯に答え、未来への可能性を提示する落合氏の姿勢は、参加者に大きな感銘を与えました。麻布小学校 150 周年の記念事業として、未来へ向かう子供たちへのメッセージを伝える、素晴らしい講演会となりました。

また記念事業の一つであるモザイクアートに参加していただきました。

